



▲今井眞平さんの茶園（日向）

お茶の香りが漂うころ

今年は、例年より一週間ほど萌芽が遅く、茶摘みが始まったのは5月中旬。そのため第1回目の共販会には間に合いませんでしたが、全体的には高値で販売され、農家の皆さんも一安心！

しかし、春の低温の影響で収量は少ないようです。

また、今年度は岐阜県茶業振興大会が9月3日に本村で開催されるため、出品点数は例年の2倍の18点。そのため出品用茶の摘採を、5月23日の柏本を皮切りに、7日間、12ヶ所の茶園で延べ、480人ほどの婦人の皆さんによって行われました。



手摘み茶は一芯二葉で摘みます



広い茶園で“かくれんぼ”をしているよう

広報 ひがししらかわ

1996
平成8年

⑥

No.420

人口の動き

—5月末住民登録人口から—	
世帯数	897 世帯
人口	3,323人
転入	7人
転出	13人
出生	0人
死亡	4人

先月と比較して10人減
 昨年と同月と比較して
 46人減

業に変革の時代が！

東白川製材協同組合

製材工場、完成に向けて

着々と工事が！

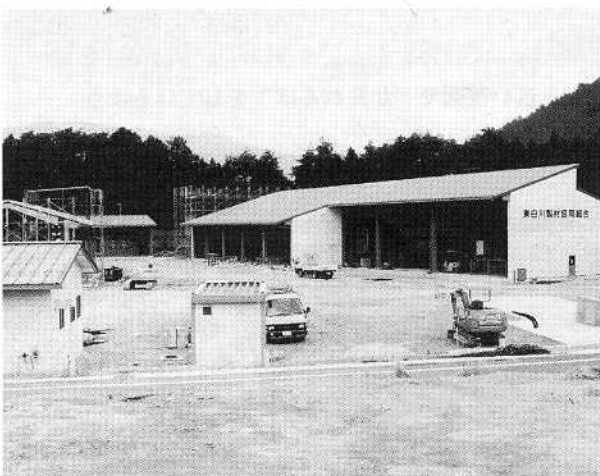
今や村の製材業の多くは、従業員の高齢化、施設整備の老朽化が進み、近い将来には経営規模の縮小や企業数の減少が懸念されていました。そこで、経営体質の強化や合理化と東濃ヒノキの産地として製品の一層の高品質化、規格の統一化、品揃えなどを図り、なお且つコストダウンや労働力不足に対応していくための近代化された製材工場が計画されました。そのため、東白川林材生産協同組合が母体となり、六名の発起人が一致団結して、新たな東白川製材協同組合が設立され、製材工場を建設し東濃ヒノキを生産と高付加価値化が図られようとしております。

ハイテクを駆使した

製材工場

製材工場の建設が進められているのは上親田地区の地場産業団地で、建設費約四億九千万円をかけ、作業棟、モルター棟、乾燥施設、製品管理倉庫、管理棟や目立工場などが建設されています。

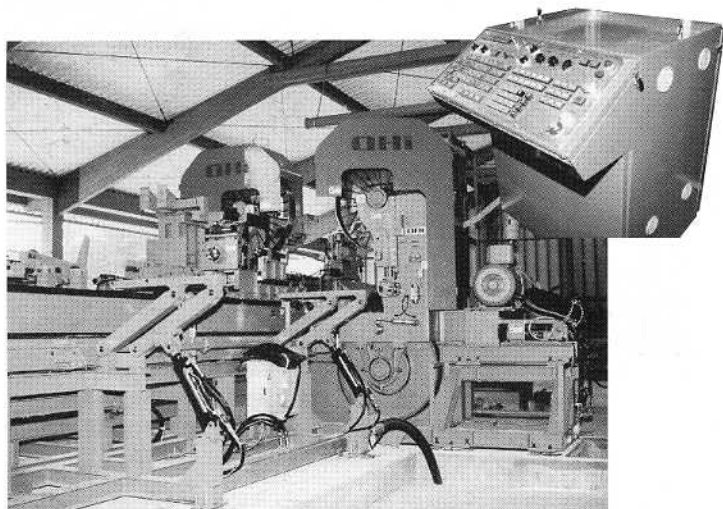
この工場は、ハイテク技術を駆使した機械を導入し、従



着々と工事が進められている

東白川製材協同組合製材工場

伝統ある村の製材業



ハイテクを駆使したツインバンドソー

来の製材工場との大きな違いは、コンピュータ制御により、大量の木材を製品化するツインバンドソーの導入。この機械は、作業前に木材の寸法や等級をコンピュータにセッティングするだけで、超音波センサーにより、直径・曲がり方向などが計測され、理想的な木取りができる無人ロボットです。この機械の導入により、柱取り年間約六千立方メートル（村の製材業社十四社の合計が約一万四千立方メートル）と高速で製品化を行うほか、高歩留り生産によって、コストの削減や人

手不足を解消する最新鋭機です。ただし、大黒柱などの高級材は、今後とも熟練者の手によって加工されます。また、製材を行う前の工程として、乾燥という作業がありますが、この作業を行うことにより、柱の曲がりや割れを防いできました。しかし、従来の自然乾燥では、含水率が材によって違い、品質はまちまちで建築中などにひび割れをおこすことがあり、こういったトラブルを防止するためにも乾燥機械を導入し、製品の統一化や品質の向上を図っていきます。

そのほか、現在、陰地にある目立工場も老朽化のため、この工場に隣接して建設されています。

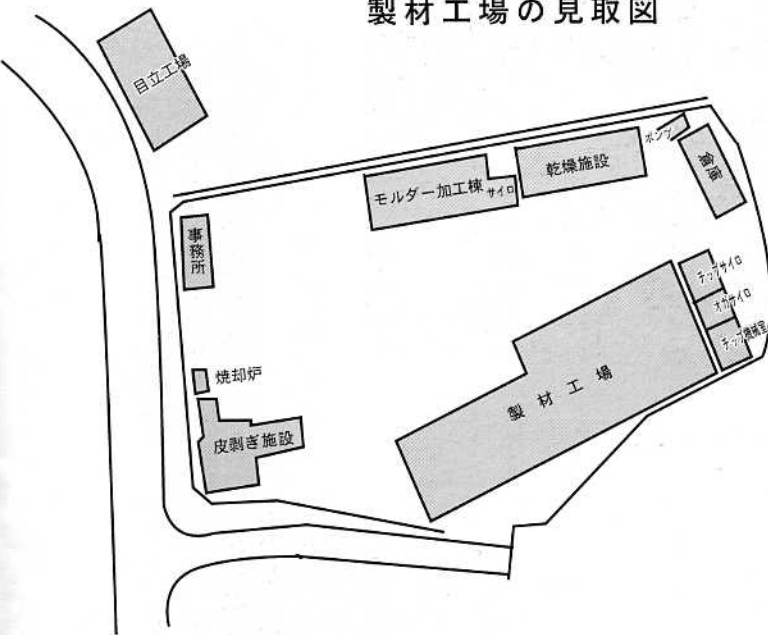
このように最新機械を導入した製材工場は、森林組合や素材業者らの協力を得、客のあらゆるニーズに応えられるよう品数を揃え、高級建築材「東濃ヒノキ」を全国にアピールしていきます。この工場は、七月の完成に向けて着々と準備が進められています。

東白川製材

協同組合の誕生

本村の製材工場は、明治四十五年には、七工場ありましたが昭和初期にみまわれた経済不況や日華事変、太平洋戦争により

製材工場の見取図



大半が休止に追込まれました。しかし、戦後復興による木材需給の高まるなか活気を取り戻し、終戦時の四工場から二十五年の九工場、さらに三十二年には十五工場と年を追って増加しました。

設備も戦前は、水力を利用した丸鋸による製材でしたが、戦後は次第に電力となり、製材機も帯鋸に切り換えられ生産能力も著しく向上しました。

昭和三十年代後半に入ると、建築ブームに乗って、製材業や建具・家具などの建築関連産業が急速に発展しましたが、需要の急増により、内地材が不足し、外材の割合が次第に高くなり、そのため、名古屋港などで陸揚げされた巨大な外材が運び込まれ建築材に加工されて再び名古屋方面へ出荷するという状態が見られていました。

しかし、本来の生産形態は、高級建築材「東濃ヒノキ」を主体とした地元生産素材であることには変わりはなく建築部門と提携して木造建築を請け負うなど多角経営を行う工場もありました。

こうして、村を代表する産業として拡大の一途をたどって来ましたが、今ひとつの転換期を迎えました。

製材業経営者の皆さんは、村の人口の減少に伴う、担い手不足、後継者問題、また、施設の老朽化といった様々な課題を抱えています。こういった個々の製材業者では、解決が難しい問題を組織を作ることによって解決しようと、新しく東白川製材協同組合が設立されました。そしてこの組合によって製材工場は運営されます。

もともと、この組合は東白川林材生産協同組合が基盤となっており、製材業者はもとより、森林組合や素材業者なども参画し、理事長には、太平工業(株)社長の今井猛夫氏が就任しました。



東白川製材協同組合の理事長
に就任された今井猛夫さん

が就任しました。

「こうした組合をつくることは、先輩たちの願いでもあった。また、東濃ヒノキの産地でありながら良質な木材は丸太ごと村外の業者が買っていく。そういう実態から、近代化された製材工場が必要であった。また、従来は建築業者とタイアップしていたため受注生産のようなものであった。

これからは付加価値を付けて、大量に生産し、色々な方面に売り出して行きたい。」と今井猛夫さんは、先輩たちの夢やこれからの抱負を語ってくれました。

この協同組合を設立するにあたってやはり賛否両論の意見があったそうです。まず第一に「協同行うことはうまくいかないのでは」、「また、どの製材業者も現在自分の工場を経営をしているため、誰が中心になって経営をしていくか。将来的に木材業がどのように変化していくか」といったように

皆さんの意見には厳しいものがあつたようです。しかし、四十年の伝統を持つ東白川林材生産組合の団結力は、一業者も漏れることなく、この新しい製材組合に参画しました。

新しい製材工場を 担っていく若者たち

この工場が稼働を始めるのを待ちわびている三人の若者がいます。

そのひとり、現在、陰地で製材業を営む父親の右腕として働く、牧野友紀央さんです。父親の義人さんは、この組合の理事を務め、友紀央さんは、長年の経験と若さを生かし工場長として働くことが決まっています。

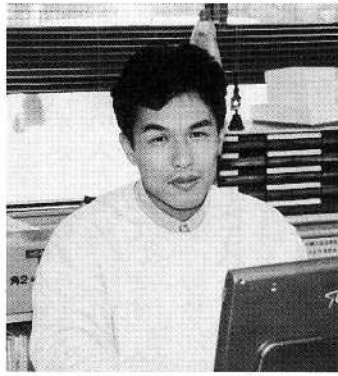
この工場で働くことは、自分の意思で決めたと言う友紀央さんは「以前、木材市で良質な木材を村外業者に買われて悔しい思いをした。けれども、今度できる工場では地元の木は地元に戻元できるんです」と新しくできる工場に期待を膨らませていました。

もうすでに、この工場の仕事にかかっているのは、大明神の田口泰宏さん。商工会を間借りして、工場に関する事務を行っています。

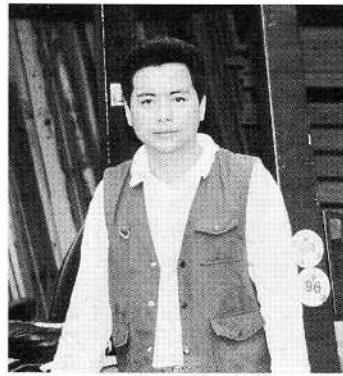
泰宏さんは、おとしUターン者として本村に帰ってきました。以前は、木材流通関係の仕事をし、森林組合の市へも顔を出していたそうです。村に帰ったら木材関係の仕事に就きたかった



桂川 恒裕さん



田口 泰宏さん



牧野友紀央さん

製材工場は、この人たちの手腕にかかっています。

たと言う泰宏さんは、「この仕事に
一から携わることができ、やりがい
がある」と希望がけないファイトに
燃えていました。
もうひとり、黒渕の桂川恒裕さ

ん。「田舎が好きだから」と昨年本村
に帰ってきた恒裕さんは、一宮市にあ
る木材関係の会社で、仕入れの営業を
担当していたそうです。
新しい職場で働くことについて、
「若いメンバーが多いことや、思った
ようにできそうで楽しみ」と話してく
れました。
工場は、この三人のバイタリティー
あふれる若い力で運営されます。

陰で支えて

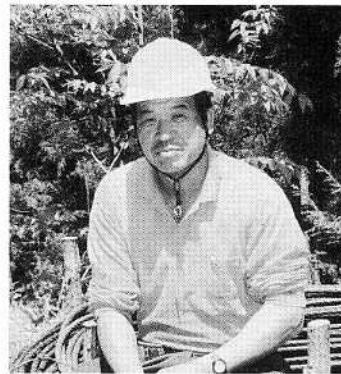
くれる人たち

まわりの皆さんの協力を得て新たな
スタートを切ろうとしている製材業界。
その中でも、素材業者や建築関係の
人たちの協力はこれからも必要としま
す。

木材の搬出作業を行う素材業を親子
で営む村雲次郎さんは、「製材組合や
プレカット工場など木材関係施設の向
上に伴い、素材業も組合を作って高速
搬出機械を入れなければ」と木材の供
給に意欲的な話を聞かせてくれました。

また、製材組合から見れば、ユーザ
ーにあたる東白川木造建築協同組合理
事長の村雲兵衛さんは、「最近の住宅
を建てる人たちは、利便性や機能性を
重視し、材料にはあまりこだわらない
人たちが増えていますが、建築組合も
世代交代の時期で、若い人たちがお客
さまのニーズに応えた住宅を研究し随
所に東濃ヒノキを使用すれば需要も増

えるのでは。また、製材組合について
は、良質な製品を安値で供給してくれ
るよう期待している」と話してくれま
した。



村雲 次郎さん



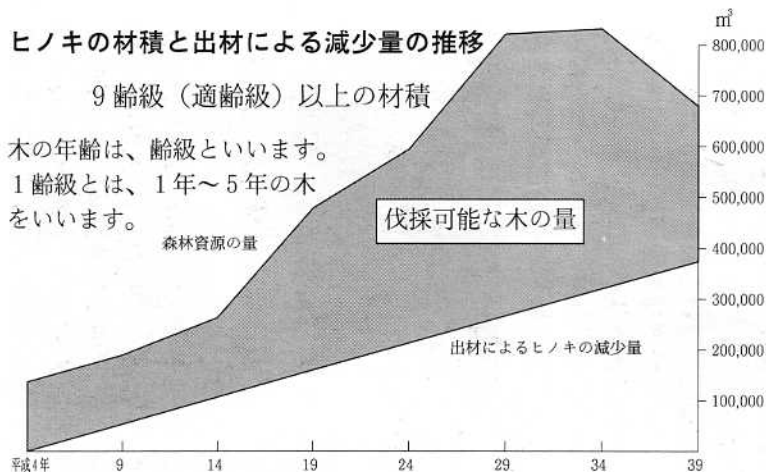
村雲 兵衛さん

時代の流れとともに、消費者が求め
る住宅像もかつての在来型から機能性
を重視したものに変化していることは
事実ですが、若い人の新鮮な考え方と
最先端の技術を取り入れたこの工場は、
そういった不利な条件にも、立ち向か
うことが期待できる施設の誕生ではな
いでしょうか。

ヒノキの材積と出材による減少量の推移

9 齢級（適齢級）以上の材積

木の年齢は、齢級といいます。
1 齢級とは、1 年～5 年の木
をいいます。



本村の森林資源の状況

本村の総面積の91%が山林でその62%
が市場性の高いヒノキの人工林です。

ヒノキを伐採するのに適している年数
は50年以上たったものですが、現在、東
白川村の山林からの出材量は、木の成長
に追い付いていないのが現状です。

80年以上の木は、腐食をおこし価値が
下がってしまうことがあります。

本村には、資源がまだまだたくさんありま
す。

お年寄りたちの 生きがい探し

テレビ、新聞などを見ると、必ずと言っていいほど高齢化社会とか高齢化問題という言葉や文字が目に入ってきます。

暗いイメージのようですが、村では今まで地域社会の発展に力を注いできた高齢者の人たちに、これからの人生を「楽しんでいただく」という「生きがい事業」を行っています。今回この事業に参加するお年寄りにスポットをあててみました。

デイサービスと

生きがい事業

私たちの村では、高齢者福祉対策のひとつとして、ホームヘルプサービスを実施し、日常生活の介護、家事、相談などを行っています。また、平成四年三月からは、高齢者生活福祉センター「せせらぎ荘」が運営されており、高齢者と呼ばれる六十五歳以上の方を対象に、入浴、食事のほかビデオ鑑賞やゲームなどを行いやすらぎや憩いの場として皆さんに利用されておりますが、利用者数の増加に伴い、施設側の対応も困難な状況になりました。

そこで、元気なお年寄りには、「もっと人生を楽しんでいただく」

と交流とふれあいの施設として建設された「こもれびの館」で陶芸教室、手芸、パターゴルフなどを行い、心身ともにいつまでも健康であってほしいことを願って、「生きがい事業」を開催しております。

そして、「せせらぎ荘」では、本来の機能である介護の必要なお年寄りを対象に、入浴やリハビリを行っています。

お年寄りは

こんなに楽しく

過ごしています

「生きがい事業」は、村から委託された㈱ふるさと企画が実施し、平成七

年度からは、陶芸教室を絡ませた内容で行っています。

村内二十集落を六グループに分け、ひとつのグループが年間五回異なった内容で参加できるようになっています。ちなみに四月は軽スポーツと陶芸教室、五・六月は奉仕活動と陶芸教室といった内容で行われています。

陶芸教室をのぞいて見ると、作っていたのは「湯飲み茶わん」。ふるさと



柄を付けるための草木取り
「この葉っぱもええやない」

企画の村雲和裕さんがお年寄りの皆さんに、わかりやすいよう大きな声でゆっくりと説明をしていました。しかし、和裕さんの説明もお年寄りには、なかなか理解が得られないようで、この事業のために、日ごろから陶芸の修業を積んでいる、陶芸サークルの皆さんがお手伝いをしてくれました。

タタラ（平に切った）の粘土を四角い型紙に合わせて切り、それをエンビ管に巻き付け、両端を接着したあとと管を抜いて円柱の形にします。もう一枚のタタラ（平に切った）の粘土を丸く切って、底の部分に貼り付け、これで湯飲み茶わんの形が出来上がり。最後は、まわりの山から取ってきた草や木で、好みの柄を付けていました。こうした工程を陶芸サークルの皆さんの助けを借りながらも作品が出来つづあります。



お年寄りの皆さんに
一生懸命に説明する村雲和裕さん。

柄を付けるのに試行錯誤／
“こういうふうがええかのう”

ぎたせいか、お腹が空いたよう
で、口いっぱいにはうばりなが
らおいしそうに食べていました。
午後からは、奉仕活動として
おじいさんたちは、外でわら草
履づくり。昔はわら草履しか
履けなんだ。ゴム靴もあったけ
ど一足二円八十銭、一日の日当
が五十銭やったで高すぎて買え
んわ”と話してくれたのは、今
年で九十歳を迎える田口貞造さん（中
通）。手慣れた手付きでわらを編んで
いく姿は風格さえ感じさせました。

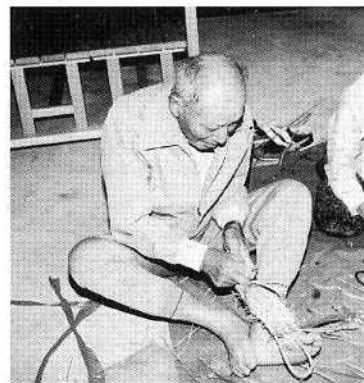
一方、部屋の中で、おばあさんたち
は、用意されたタオルでぞうきんづく
り。縫い針の小さな穴に糸を通すのが
大変そう。戦時中、わらじかけ（わ
ら草履を履くときのタビ）や自分の
着物を解いて、子どもの服を作った
“と皆さん言いながらも時代の流れ
が記憶を薄れさせたのか、和やかな雰

きたせいか、お腹が空いたよう
で、口いっぱいにはうばりなが
らおいしそうに食べていました
午後からは、奉仕活動として
おじいさんたちは、外でわら草
履づくり。昔はわら草履しか
履けなんだ。ゴム靴もあったけ
ど一足二円八十銭、一日の日当
が五十銭やったで高すぎて買え
んわ」と話してくれたのは、今

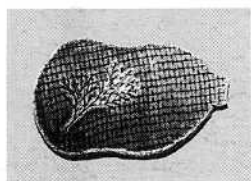
こうした内容で行われている「生きがい事業」、参加されているお年寄りに、たいへん好評のようです。また、ふるさと企画の社員や陶芸サークルの皆さんも、参加される方たちみんな一生懸命やっていたので、やりがいがある」と言っていました。

元気なお年寄りなら誰でも参加できるこの活動。送迎も行っていますのでぜひ参加してみてはいかがでしょうか。

有線二四二八



何と今年で90歳の田口貞造さん。
若いもんにはまだまだ負けんぞ！



岩井まさる (神 付)

皆さんの作品
(敬称略)

おし らせ

こんにちは
社協です

ボランティア
～安心の中で
活動を～
現在、村内の
ボランティア登
録者は約百八十
名。でも、せつ
かくの活動も、
けがや行き帰り
の事故などが心
配ですね。
社協では、登
録者を「ボラン
ティア保険」で
補償しています。
個人ボランテ
ィアさんも加入
できますのでぜ
ひ社協へご連絡
ください。

代金引換郵便 の落とし穴

※相談事例

二週間前、雑誌の「譲りま
す」コーナーで九万二千円の
カメラをハガキで申し込んだ。
今日、代金引換郵便で商品
が届いたので、さっそく中身
を開けてみたところ、注文し
たカメラと関係ないボディ
ソープ一本と雑誌が入ってい
た。申込先は、個人であり、
住所は私書箱になっている。
電話をかけても誰もでない。
どうすればよいか。

※処理方法

内容証明郵便で返金請求す
るよう助言した。さらに詐欺
の疑いがあるので、警察に被
害届を出すよう助言した。
*通信販売には、クーリング
・オフは適用されないので、
申し込む前に必ず、解約・返
金の条件（返送料、返品可能
期間など）を確認しましょう。
◆ご相談、問い合わせノ
岐阜県消費生活センター
社岐阜県消費生活協会

☎〇五八（二六五）〇九九
（二六五）二五七二

6月は土砂災害 防止月間です

毎年この時期は大雨が降り
土砂災害が起きやすく、注意
が必要です。自分の身の回り
に危険な箇所はありませんか。
雨が、一時間に20ミリ以
上、降り始めから100ミリ
以上になるとたいへん危険な
状況です。いざという時に避
難する場所、道順を決めてお
きましょう。土砂災害は皆さ
んと行政が一体となって防ぐ
ことが大切です。

土砂災害防止月間

みんなで防ごう

土砂災害



あなたの心が人の
生命を救います
献血にご協力を!!

献血は、身近なボランテ
ィアです。年間約七百万人近い
人の善意により、血液を必要
とする人の生命を救っていま
すが、近年いろいろな病気等
の増加に伴い、献血者が減っ
ています。特に若年層の献血
率が低下しています。「まだ
一度も献血をしたことがない」
という方、是非一度やってみ
てください。

今年度の献血予定は、七月
に成分献血、一月に全血（一
般の二百mlと四百ml）を行
います。くわしい日程等は、後
日、チラシ・有線でお知らせ
します。村民皆さんの積極
的なご協力をお願いします。

扇風機は使用前に
必ず自己点検を

そろそろ扇風機が活躍する
季節。安全に使うため、十分

国民安全の日 7月1日

生活のすべてに安全を

「これくらいならいいだろう」
「少しの間だけだから」
などといった不注意や不用心が、
事故や災害につながります。



保健婦だより

大腸がんは、急増中です！

大腸がんは、ここ二十年間でその死亡者が三倍強となっています。

食生活の欧米化が最大原因とされていますが、今後が増え続ける傾向があるのが大腸がんの対策はとても重要です。

早期発見できれば治療することも可能ですが、診断を受けるのが遅れると、治る率もぐんと下ります。四十歳になったら、必ず検診を心がけましょう。今年から村でも実施しています。料金は五〇〇円です。

けいじばん

【戸籍】 (敬称略)

● いつまでもおしあわせに

{安江 利修 (加舎尾)
{今井 恵 (宮 代)
{今井 嘉徳 (西 洞)
{澤木いずみ (陰 地)

● おくやみ申し上げます

桂川 佑一 75歳 (栃 山)
村雲 いと 81歳 (上親田)
村雲 加夫 71歳 (中 通)
金尾秀之介 97歳 (陰 地)

【善意】 (敬称略)

【社会福祉協議会へ】

現金20万円＝村雲規造(上親田)

現金1,580円＝匿名

古切手＝岩井まさゑ (神付)

古切手＝田口 徳 (大明神)

【東白川小学校へ】

竹ぼうき＝五加老人クラブ寿会

造花カーネーション＝東白川村母子寡婦福祉会

【東白川中学校へ】

竹ぼうき＝五加老人クラブ寿会

【神土保育園へ】

竹ぼうき＝五加老人クラブ寿会

造花カーネーション＝東白川村母子寡婦福祉会

【越原保育園へ】

竹ぼうき＝五加老人クラブ寿会

造花カーネーション＝東白川村母子寡婦福祉会

【五加保育園へ】

竹ぼうき＝五加老人クラブ寿会

造花カーネーション＝東白川村母子寡婦福祉会

な点検を行いましょう。

羽根が回転しない、回転が遅い、不規則、モーター部が熱い、こげ臭いニオイや異常な音がする：などの症状があったら要注意。次のケースが考えられます。

プラグが抜けている、タイマーツマミが「切」になっている、ガードが変形している、ガードや羽根の取り付けがゆるんでいるなど。

これらをチェックした上でまだ異常があれば、プラグを抜いて使用を中止してください。発煙・発火の恐れがありますので、異常を放置したまま

ま無理に使用するのはやめましょう。再使用の際には必ず販売店等にご相談ください。

児童手当現況届

の提出について

児童手当現況届は、毎年六月一日における状況を記載し、児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。(児童手当は三歳未満の児童を養育している方に支給されます。但し、所得が一定額以上の場合には支給されません。)

必要書類といっしょに期日までに役場住民窓口へお届けください。提出がないと、六月以降の手当が受けられなくなりしますのでご注意ください。

◆提出期限／六月末日まで
◆くわしくは／役場住民窓口有線二一五一

来たれ税のフレッシュ

税務職員募集

人事院・国税庁では、税務職員(税務大学校生)を募集しています。税務職員は、国家公務員採用Ⅲ種試験(税務)の合格者から採用されます。

※国家公務員採用Ⅲ種試験

◆受験資格者(予定)／昭和五十一年四月二日(昭和五十

四年四月一日生まれの方

◆試験日程等(予定)／

*申込受付期間：平成八年六月二十六日(七月三日)

*第一次試験日：平成八年九月八日

*第二次試験日：平成八年十月十七日(十月二十四日まで)の内、いずれか一日

◆くわしくは／名古屋国税局人事第二課試験係 ☎〇五二(九五二) 三五一一 内線三四五〇又は最寄りの税務署総務課にお問い合わせください。

TOPICS

環境

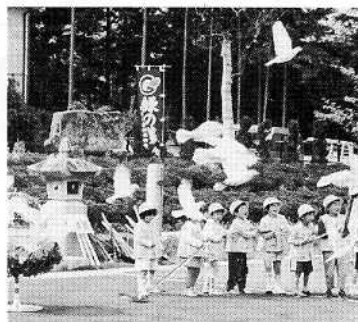
“地球を緑でいっぱい”
環境緑化大会本村で開催



地球を緑でいっぱい！

行く様子は、園児たちの将来を見ていた。最後は、参加者全員で、サツキやサクラなどの苗、約二百本をこもれびの里一帯に植樹され、大会の幕を閉じた。

“つくろうよ小さな木から地球の未来”をテーマに五月十六日、こもれびの里において、第十六回岐阜県緑化推進委員会可茂支部環境



いつまでも平和や緑を愛する子供たちに！

緑化大会と地域の森造成事業が、村内外約百五十名の関係者を迎え盛大に行われました。この大会は、森林保護や明るく美しい郷土づくりを目的に行われたものです。式典では、長年環境緑化にご尽力のあった六名の方が功労者として表彰され、本村では、古田忠さん（上親田）が受賞されました。記念行事では、神土保育園の園児たちの手によってハトが放され、群れになって飛び立って行く様子は、園児たちの将来を見ていた。最後は、参加者全員で、サツキやサクラなどの苗、約二百本をこもれびの里一帯に植樹され、大会の幕を閉じた。

団結

“一生懸命……”をテーマに
行われた中学校体育大会



学級対抗選手リレー

“あとはおまえにまかせたぞ” 初夏を感じさせる晴天の中、生徒たちの“フアイトオー”の掛け声で始まった中学校体育大会が、五月二十五日運動場で行われました。この大会は、個人競技の記録も懸かって

いましたが、学級対抗戦のため、競技前に行われたあいさつではどの学級も“お願いします”の言葉の中に、闘志が込められていたようです。競技は全部で十三種目。個人競技では、百メートルで三年生の今井博道さん（陰地）が大会新記録を出し、“狙っていた”と一言。団体競技では、長縄跳びやムカデ競争が行われ下級生も団結力の見せ場でしたが、先輩らしいまとまりを見せたのは三年生。最後まで一丸となって戦った生徒たち。体力を考慮して、ハンディキャップ制がとられていたが、結果はハンデをものともせず三年生が優勝。しかし、全員の目標である“一生懸命”という言葉どおりさわやかな汗が流れていました。



学級対抗長縄とび
“団結力なら私たち”

発足

「東白川花の木会」の設立に
向かって着々とすすむ準備



仕事を終えてからの
発起人会。ご苦労様です。

“東白川の情報を”との声で、現在平田町助役の飯田正樹さん（栃山出身）を代表とする発起人により、本村出身者の組織「東白川花の木会」の設立に向けて着々と準備が進められています。

こういった組織は、東京では「東白川クラブ」名古屋近郊では「中京村人会」があり、本村の情報は、広報紙などを通じて出身者に知られています。しかし、本村に近い岐阜市周辺の出身者からは、“情報が得られ無い”との声が幾度となくあり、岐阜市近郊にお住まいの各年代十名の皆さんに、相談をしたところ賛同を得、また快く発起人を受けていただきました。これまで数回の会議で、会の名称や会員への情報提供の仕方などの話し合いが行われ、また設立総会も八月四日に岐阜市のせいらん会館で行うことになりました。調査の結果、対象者は現在四百七十名ほど。“多くの方に入会していただきたい”とのことでした。

◆発起人の皆さん 敬称略（出身地）
飯田正樹（栃山） 鈴木貞（平） 桂川貞昭（日向）
田口愛子（平） 渡辺富久美（平） 安江好文（中通）
安江多枝子（平） 小池英雄（中谷） 中島紀代子（上親田） 平光久（陰地）

話題集まれ!

技 術

連夜の訓練の成果を披露

熱戦がくりひろげられた第三十二回東白川村消防操法大会



放水は見事、的に命中!

“優勝はオレたちが”

緊張感がみなぎる中、“ヨッシャ”の声援とともに前方の標的に向かって、延ばされたホース。団員たちの熱戦が繰り広げられた、第三十二回東白川村消防操法大会が、

五月二十六日、総合運動場で行われました。

各団員ともこの日のために、一日の仕事疲れにもかかわらず、十二日間連日連夜、訓練を重ねてきました。

大会は、小型動力ポンプの部で九チーム、ポンプ自動車部では二チームが出場し、ポンプ操作、規律、タイムなどを競うものです。

大会に出場した団員の中には、今年四月に入団した人も見受けられ、無難にこなす操法は、

伝統ある東白川

村消防団の将来

に期待が持たれ

ます。また、団

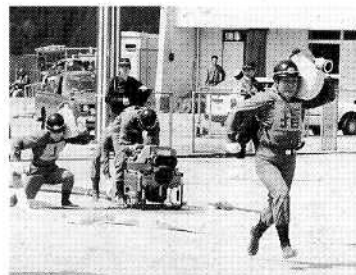
員たちの優れた

操法技術は、村

民の財産を守る

ことに生かされ、

大会を見守る住



“番員賞はオレのもの”

さすが見事な走りです。

も与えたようです。

最後まで白熱したこの大会で、優勝に輝いた第一部第五ポンプは、六月二十三日に本村で行われる加茂郡消防操法大会に出場します。

◆東白川村消防操法大会の結果 (敬称略)

【小型動力ポンプの部】

優勝/第一部第五ポンプ ▼準優勝/第二部第二ポンプ ▼三位/第三部第七ポンプ

【ポンプ自動車の部】

優勝/第三部自動車ポンプ

【個人表彰】

▼小型動力ポンプの部/指揮者—安江繁人(平・第三ポンプ)、一番員—牧野勇三(日向・第七ポンプ)、二番員—田口健二(西洞・第二ポンプ)、三番員—安江周哲(下親田・第五ポンプ)、栗本雄二(柏本・第一ポンプ)、安江利修(加舎尾・第三ポンプ)

▼ポンプ自動車の部/指揮者—村雲和裕(平・第一部)、一番員—今井明義(陰地・第三部)、三番員—村雲治幸(神付・第一部)、四番員—安江真治(陰地・第三部)

ポンプ自動車の部
▼優勝 第三部自動車ポンプ

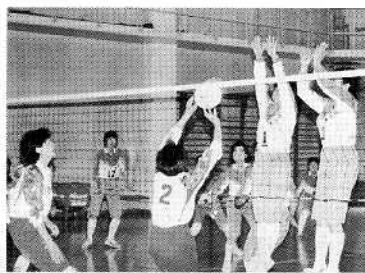


▲小型動力ポンプの部
優勝 第一部第五ポンプ

熱 戦

喜びと悔しさがいりまじった

第四十回加茂郡体育大会



V2 達成!

バレーボール家庭婦人の部

第四十回加茂郡体育大会が六月二日、坂祝町をメイン会場に八会場で開催されました。本村からは、十四種目、百四十三人の選手団が出場し、熱戦を繰り広げました。

坂祝中学校の体育館で行われた、バレーボール家庭婦人の部で、本村のチームが前年度優勝のプレッシャーをはね退け、みごとV2。また、剣道個人三十五〜四十五歳の部で上親田の安江誠さん(六段)が強敵富加町の選手を下し優勝しました。

大会の結果は次のとおり。(敬称略) 【優勝】

△団体Vバレーボール家庭婦人△個人V剣道△安江誠(上親田) 【準優勝】△団体Vソフトテニス一般女子 【第三位】△団体Vバスケットボール男子・女子、

剣道青年・一般、ソフトテニス成

壮年、ソフトボー

ル実年男子、サッ

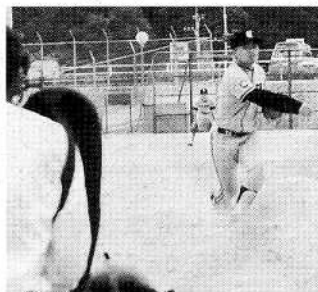
カー一般、軟式

野球男子一般△

個人Vクレイ射

撃スキーの部△

安江洋次(曲坂)



1回戦を完封勝利!

軟式野球男子一般



茶摘みより

今月の笑顔さん

みんなが公園…のよつなページ

東白川花の木会発足

東白川花の木会発起人會代表 飯田 正樹
(旧姓 桂川・栃山)

ふるさと東白川村応援団を組織しようと、岐阜地区で準備が進められています。

現在中京圏と東京で東白川村人會が組織され活動されています。そこで桂川村長様の御示唆と御支援をいただき、このたび岐阜地区の有志で発起人會を設け、打合せを重ね、八月上旬には設立總會を開催する運びとなりました。

私は、村の在住期間は僅かでしたが、年長の故をもって代表を務めさせて頂いておりますのでよろしく願います。

東白川花の木会は岐阜地区の東白川村出身の會員へ情報提供と親睦を目的としますが、ふるさとの活性化を推進する原動力の一助となり、そして愛する我が村がいままでも人情味あふれる豊かで、住みよい村であることを願います。



職場から

古田 オート

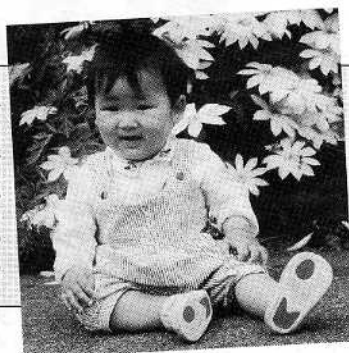
村の交通の手段といえばほとんどの方が自動車で、一家に二、三台はあるのでは。

大きく手掛けている平の古田オートを訪ねました。

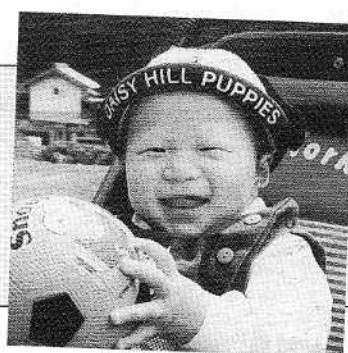
もともと先代は、自転車販売業を営み、時代の流れとともに現在の自動車販売に変わったそうです。

「来年四月からの年間労働時間の短縮に困った」とお客様への信頼がモットーと言う社長の古田昌勝さんには頭を抱える問題。

現在の従業員数は、十四名。修理などを担当している七名の内、四名が二十代と若い方が多く、「和気あいあいとして楽しい」とは今年で三年目の安江淳さん(日向)。この楽しい職場に、白川町から新たにひとり仲間が増えました。



有田拓也ちゃん
(尚樹さん・恵実さん
の二下親田)



村雲雅司ちゃん
(知巳さん・ちほみさん
の二西洞)



わが家のスター

梅雨さびし夢の中にも降ってをり 岩見静々
梅雨寒や家にゐつきし迷ひ猫 渡沢波亭
梅雨が上るまで炬燵が片付けられないのは仕方ないとして、家に居着いた野良猫、この雨の中、追い出すも可哀そうだし、どうしようか……。
木曾川の出水の見んと着たる 養 松本たかし
雨は欲しいが出水(河川氾濫)はお断わりです。
妻の声庭に移りぬ梅雨晴間 成瀬正とし

お便り



飯田正樹さん(平田町助役)

2 ツーショット 新婚さん



今井嘉徳さん・いずみさんご夫妻

今回は、五月十八日に結ばれた新婚ホヤホヤのカップル、平の今井嘉徳さん、いずみさんご夫妻を訪ねました。

知り合ったのは三年ほど前。お互いの友だちグループでのお付き合いだったとか。"すでにそのときから意識をしていた"とはご主人の弁。"最初は、やさしい人だな"という程度で、あまり意識はしていなかったとは、奥さんの話。"結婚を前提に付き合ってた"とご主人に言われ、お

二人で遊びに行くようになったのは一年半ぐらい前から。断ることの下手な奥さんの性格を知ってか、まめにデートに誘い、そのうちに奥さんも結婚を意識するようになったそうです。

"自分の目に狂いはなかった、寄り切りです"とご主人が言えば、"頼りがいがある人です"と奥さん。

お子さんは、野球チームを作るぐらいが理想だった奥さん、現実は二人か三人が希望だとか。平にお熱い二人の誕生です。

今月のことば

料理は買ひものから始まります。いい素材を使う。そのよさをどう生かすか。いくら腕が良くても、腕から味が出るわけはありません。

料理人 辻 義一

サークル

訪ねある記 ③



今回は、野球に匹敵する人気スポーツ、サッカーの東白川FCを訪ねました。

現在総勢七十九名。高校・一般、中学生、小学生にチームは分かれており、総合グラウンドいっぱい練習をしていました。小学校高学年の監督を務めるのは、平の安江正樹さん。"ガミガミ言わないやさしい監督"と人気は好評。中学年は神付の熊崎昭彦さん。中学生以上は教育委員会の田口等監督。"サッカーを通じ

て縦のつながりを大事にしていきたい。また、女子のチームを作るのが夢"と話してくれました。



図書室発・あなたへ

いいことから始めよう



「いいことから始めよう」

エイフ・ラハム・ツワルスキー著

ホットアングル



なんと、柿の木から竹が出ているではありませんか。この柿の木は、平の今井和道さん宅にある、樹齢約三百年の「あおねり」と言われる珍しい品種。老樹のためか、中が空洞で、そこから竹が伸びてきたというもの。しかし、道路工事で移転を余儀無くされ、"枯れてしまうのでは、と心配そうに話す和道さん。



かちあってみませんか。

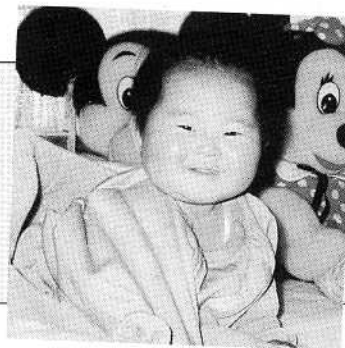
クになります。この本の中で、仲間達とともにパラエティに富んだ人生経験をわかちあってみませんか。

精神科医がああ「ピーナッツ」の漫画を解読したら、出てくる出てくる、生きるヒント。チャーリー・ブラウンやルーシー、スヌーピーらの語るさりげない言葉から導き出された、人生のエッセンス。読みながら、笑いながら、あなたは必ずラクになります。この本の中で、仲間達とともにパラエティに富んだ人生経験をわかちあってみませんか。

▶古田優菜ちゃん
(耕一さん・幸子さん
上親田)



▶安江萌恵子ちゃん
(広和さん・万里子さん
日向)



さくら咲くここに住み古り今日も無事
飛行雲端よりくずれ霞けり

天心の月皎々と水盗む

初ものの独活ちっくりと夕げかな

五月晴れ友を見舞って吐息つく

緑の羽根少女のごとく髪にさす

新緑は花よりやさしと仰ぎけり

春愁やしわの手風呂に祖母偲ぶ

留守番に無言の電話花曇り

独活の束さげて忙しや四月馬鹿

摘草の畔一列に飯りくる

白酒を孫の手ふれぬ棚におく

日向 安江一滴水

栃山 安江 市助

平 今井 統子

曲坂 荻田 清美

日向 田口 秋映

自然薯掘る段取組みてたのしめり

茶の里で鳴れる鉄や春日和

ハナの木は花がお先きと陽が笑ふ

鶯笛近く遠くで風に乗る

水仕終へ窓に明るき春の月

久に聞く暮春の夜の雨の音

ゆっくりと咲けばいいのさ山桜

美佐枝さや夜明け早くなりけり

婚の荷の見えがくれつつ桃の花

初音今つまづくごとし谷向い

加舎尾 今井 周一

中通 村雲みか子

平 安江すみよ

西洞 中島甲子生

西洞 河田 重喜

あなたも作品をお寄せください！初心者、とくに若い人たちの投稿を
歓迎します。奇数月の二十日までに神戸河田重喜宛に出して下さい。

こぼれ話



通信機器の普及が盛んになっており、今や国民の十人に一人が利用すると言われている携帯電話、自動車電話。

▼以前は都市部とか高速道路中心のサービスであったが、近年は地方でもサービスが広がってきている。▼特に、農山村こそ若者定住のためにもサービスが必要であると言われてきている。▼東白川村においても来年には携帯電話が使えるようになるが、最近の新聞紙上は携帯電話の使い方についてあれこれと書いている。先月三十日には大阪において携帯電話使用中の交通死亡事故も発生している。▼こうした文明の利器は一步使い方を誤ると他人に大きく迷惑をかけることとなるが、うまく使えば、これ程便利なものはない。▼仕事先から自宅へ・車での移動中の家族への連絡等々、有効に活用して現代文明に乗り遅れないようにしたいものだ。▼これからの利用者は今以上に増えるだろうが、利用者のモラルに期待して周囲の迷惑にならないよう心掛けて欲しいと思う。(D)

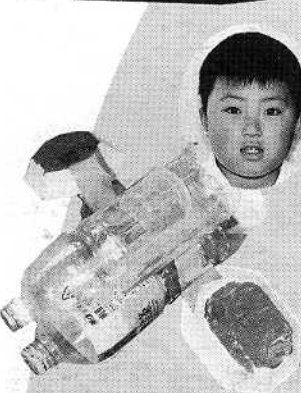
発表わたしの作品



▶「おかあさんありがとう」
神戸保育園すみれ組
中島直紀くん(平)



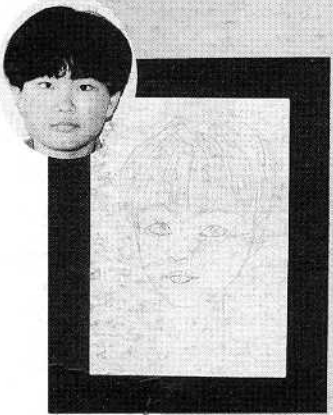
▶「おかあさんありがとう」
神戸保育園すみれ組
早瀬文香ちゃん(神付)



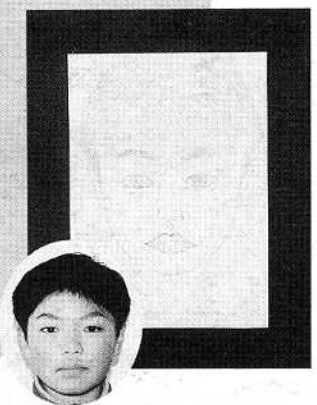
▲「潜水艦」
東白川小学校3年生
今井健太さん(神付)



▲「虫歯予防ポスター」
東白川小学校6年生
今井健太郎さん(大沢)



▲線の学習「自画像」
東白川中学校1年生
安江 藍さん(陰地)



▲線の学習「自画像」
東白川中学校1年生
田口昌史さん(加舎尾)



再生紙を使用しています